

5 科 目 名	芸術Ⅱ（書道） Art II (Calligraphy)			担当教員	正田幸子		
学 年	2 年	学 期	前期	履修条件	必修	単位数	1
分 野	一般	授業形式	実技	科目番号	16220027	単位区別	履修
学習目標	これまでの学習内容と関連づけながら、表現と鑑賞の能力を育てるとともに、古典の臨書と創作を通して、書の美への探求がより充実、深化したものとなるようにする。						
進 め 方	・表現の学習では、実技を通して臨書と創作をする。 ・多様な書の美への関心と鑑賞の必要性を理解させ、美を追求する姿勢を確立させる。						
学習内容	学習項目（時間数）			学習到達目標			
	1. 書の美を求めて（1）	（1）		書が求める美とは何かを考える	A3:1		
	2. 篆書の学習（1） さまざまな篆書	（1）					
	3. 石鼓文の鑑賞と臨書	（2）		特徴を確かめ、その特性を確認する	A3:1		
	4. 金文の鑑賞と臨書	（2）		それぞれの特徴を確かめ、表現へ結びつけるようにする	A3:2		

	5. 隷書の学習 さまざまな隷書	（1）		特徴を確かめ、表現へ結びつけるようにする	A3:2		
	6. 隷書の特徴	（2）		特徴を確かめ、その特性を確認する	A3:2		
	7. 曹全碑の鑑賞と臨書	（2）					
	8. 行草書の学習（4） 風信帖の鑑賞と臨書	（4）					
	9. 行書の創作	（3）		漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意図した表現に近づけるようにする。	B2:1		
	10. 楷書の学習 整齊の美と均衡の美	（3）					
11. 仮名の書の学習 種類、特徴	（2）						

12. 漢字仮名交じりの書の学習	（1）		漢字は力強く、仮名は優美さを特徴としているので、この両者を調和させて美しく表現できるよう工夫する。各自が意図した表現に近づけるようにする。	B2:1			
13. 書体の趣を生かした表現の工夫	（2）						
14. 古名跡を応用しての表現	（2）						
16. 全体構成の工夫	（2）						
評価方法	毎時間、清書作品を提出させ、学習到達度評価を行うとともに、授業態度等も加味した総合評価を行う。						
履修要件	特になし						
関連科目							
教 材	教科書：今井凌雪著「新編 書道Ⅱ」 教育出版						
備 考							